

## ぶんぼう

①

どうしたんですか。  
-(連体形)んです。

れんしゅう 1

「どうしたんですか。」は、相手の顔色や態度などの変わった様子から、相手に問いかける表現である。この質問に答える場合は、事情を説明するための表現である「～んです。」がよく用いられる。

A: どうしたんですか。

B1: ちょっと気分が悪いんです。頭もいたいんです。

B2: すこしつかれているんです。

B3: おなかですいて、のどもかわいているんです。

「～んです。」の前に来る言葉は以下の活用形となっている。

	丁寧体	～んです
い形容詞	頭 <small>あたま</small> がいたいです	頭 <small>あたま</small> がいたいんです
な形容詞	好きです	好きなんです
名詞 (現在形)	病気 <small>びょうき</small> です	病気 <small>びょうき</small> なんです
動詞 (現在形)	ねつがあります	ねつがあるんです
動詞 (過去形)	かぜをひきました	かぜをひいたんです

②

V ない

れんしゅう 2-3

「V ない」は、動詞の否定形の一つである。活用法は以下の通りである。

Vグループ1 辞書形の最後の音を、/u/行から/a/行にし、「ない」をつける。

書く → 書かない  
泳ぐ → 泳がない  
話す → 話さない  
待つ → 待たない  
あそぶ → あそばない  
読む → 読まない  
のぼる → のぼらない

★以下のような例外がある

「～う」は「～わ」になる

買う → 買わない

動詞「ある」は特別な活用をする

ある → ない

Vグループ2 「る」をとって「ない」をつける。

見る → 見ない  
ねる → ねない

Vグループ3

する → し  
来る → 来ない

③ 

V ない	ください。
------	-------

れんしゅう 2

相手に、何かをしないことを指示する表現である。例えば、医者が患者に、先生が生徒に、などの人間関係において用いられる。

ねつがありますから、今日はシャワーをあびないでください。

あした、おくれしないでください。

すぐなおりますから、そんなに心配しんぱいしないでください。

ご両親しんぱいに心配をかけないでください。

大きいこえを出さないでください。

④ 

V た	方がいい
V ない	

れんしゅう 3

相手に対して、助言をしたり、勧めたりするとき用いる表現で、二つの形がある。

4.1 「V た方がい」は、ある動作をするように助言する。

〈気分の悪そうな友人に助言する〉

病院びょういんに行った方がいですよ。

〈雨が降りそうなのに出かけようとしている人に言う〉

かさを持って行った方がいです。

〈高い熱を出した友人に言う〉

ねつがとても高いですから、入院にゅういんした方がいですね。

〈流血している友人に言う〉

ちがたくさん出ていますから、病院びょういんに行った方がいですよ。

4.2 「V ない方がい」は、ある動作をしないように助言する。

〈体調が悪い中、塾へ行こうとしている友人に言う〉

今日はじゅくへ行かない方がいです。

〈他店より、商品の価格が高い店で何かを買おうとしている友人に言う〉

高いですから、ここで買わない方がいです。

〈医者が患者に、飲むと眠くなる薬を処方する時に言う〉

(車を) うんてんしない方がいです。

⑤ 

(期間)	に	(回数)
------	---	------

よんでみましょう

ある期間毎に行われる動作の回数を表す。

この薬くすりは一日に何回つけますか。

一週間に三回うんどうをします。

うちのいぬは六か月に一回ちゅうしゃをします。

一年に二回いなかのうちに帰ります。

## ぶんぼう

① ～なる

「～なる」は、状態や形の変化を表し、タイ語は[klaay pen...]である。以下の用法で、形容詞、名詞、動詞と使われる。

1.1 状態（形容詞／名詞）の変化を表す

れんしゅう 1

状態や身分、性質、情報などの変化を表す。形容詞と名詞の活用は、以下の通りである。

<b>い形容詞</b>	い	⇒	く	+	なる
	高い	→			高くなる
	きたない	→			きたなくなる
★例外	いい	→			よくなる

<b>な形容詞</b>	+	に	+	なる
	元気	→		元気になる
	便利 <small>べんり</small>	→		便利 <small>べんり</small> になる

<b>名詞</b>	+	に	+	なる
	おとな	→		おとなになる
	病気	→		病気になる

寒くなりましたね。  
ガソリンは12月1日から高くなります。  
弟はさいきん、まじめになりました。  
あきこさんは元気になりました。  
来年から大学生になります。

1.2 動作（動詞）の変化を表す

れんしゅう 2

習慣や行動、社会的習慣が変化したことを表し、以下の用法がある。

a. 以前はしていなかった事柄を現在は日常的にするといったような習慣の変化を、「Vdic+ようになる」で表す。ある一人の習慣にも、社会全体の習慣にも用いる。

さいきん、めんにとうがらしを入れるようになりました。

赤ちゃんは何か月ぐらいからあゝ歩くようになりますか。

日本語の勉強をはじめてから、前より日本のぶんかにきょうみを持つようになりました。

タイ人はいつからスプーンとフォークでしょくじ食事するようになりましたか。

b. 以前は日常的に良くしていた事柄を現在はしなくなったというような習慣の変化を「Vな(い)く+なる」で表す。(「Vない形」は「い」で終わるため、い形容詞と同様に「い」を「く」に活用し「なる」と接続する。)

高校生になってから、まんがを読まなくなりました。

こいびとができてから、モンタワンさんはあまり電話をくれなくなりました。

トランにひっこしてから、あまり友だちにれんらくしなくなりました。

② 主格を表す「が」

れんしゅう 2

様々な場合において、「が」は、主語を示す助詞である。第5課で取り上げたように、疑問詞の主語とその答えの主語に「が」を用いるが、その他に、次のような場合にも助詞「が」を用いる。例えば、話し手の目の前の出来事や状態を表現する時や、起きた事柄や聞いた情報を報告する時などである。話し手が、主語「だれが」と述語「何を(した)か」の両方に重点を置いて伝えたいときに、助詞「が」

で示す。

〈新しくできたものや場所について言う〉

近くにコンドミニアムができました。  
コーヒーショップがたくさんできました。

〈自然現象について言う〉

あめがふっています。  
風かぜがぜんぜんふいていません。

〈先生が歩いて来るのを見た。誰かが来たこと、その誰かが先生であることを報告する〉

先生が来ました。

〈店の前に人がたくさん並んでいるのを見て、そのことを誰かに教える。〉

店の前に人がおおぜいならんでいます。

〈発生したトラブルなどを報告する〉

コンピューターがこわれました。  
カメラがなくなりました。

〈家の近くに新しい店ができた。それは喫茶店だった。そのことを誰かに教える〉

家の近くにきれいなきつさてんができました。

〈ゆうべの自分の出来事を友人に伝える〉

ゆうべチャークリットさんが赤いばらのはなをくれました。

〈明日の自分の予定を友人に教える〉

あしたちゅうがっこう中学校の時の友だちがうちへあそびに来ます。

③ 可能動詞

れんしゅう 3-8

第9課で学習した「V dic ことができる」の他に、動詞を可能形に活用することで、人の能力を表すことができる。可能形の活用は、以下の通りである。

Vグループ1 辞書形の最後の拍を/u/行から、/e/行にし、「る」をつける。

うたう	→	うたえる
行く	→	行ける
話す	→	話せる
読む	→	読める

Vグループ2 「る」をとり、「られる」をつける。

見る	→	見られる
食べる	→	食べられる

Vグループ3

する	→	できる
くる	→	来られる

A: ウィットさんは泳げますか。

B: はい、100メートルぐらい泳げます。

★可能形動詞が他動詞である場合、その動詞の目的語には「を」ではなく、「が」がつく。

からい物を食べます。

からい物が食べられます。

A：みどりさんはタイ語が話せますか。

B1：はい、すこし話せます。

B2：いいえ、ぜんぜん話せません。

A：としょかんでDVDがかりられますか。

B：いいえ、かりられません。でも、としょかんで見られます。

ただし、通過点や離れる点を示す「を」は「が」にならない。

今すぐうちを出られますか。

④ 変化をあらわす表現

れんしゅう 6-8

a. 以前までは出来なかったことが出来るようになる場合、(可能形動詞) ようになるの文型で、能力の変化を表す。

ひらがなもかたかなも読めるようになりました。

マンゴーは今、一年中食べられるようになりました。

インターネットができてから、世界中のことがしらべられるようになりました。

映画のチケットもインターネットでよやくできるようになりました。

b. 以前は出来ていたことが出来なくなる場合、(可能形動詞) + なくなるの文型で、能力や状態の変化を表す

あしたのパーティーに行けなくなりました。

本がかりられなくなりますから、カードをなくさないでください。

ゆびにけがをしてから、ピアノがひけなくなりました。

ずいぶんふとりましたから、きょねんのズボンがはけなくなりました。

⑤ V1 ながら V2

れんしゅう 9

「V ますながら V」は、主語が二つの動作を同時に行うことを意味する表現である。この時、後ろの動作が主な動作となる。

〈ある人が歩いているが、それと同時に電話で話していることを言う〉

あの人は、けいたい電話で話しながら、歩いています。

〈友人に話したいことがあるが、授業がそろそろ始まるので、そこで話さないで、歩きながら、話そうと言う〉

つぎのじゅぎょうがはじまりますから、歩きながら、話しましょう。

⑥ 知る

まんがでまとめ

「知る」は、タイ語で[rúu][rúu càk]である。「知っています」は、今何らかの情報や知識を持っていることを表す時に使う。否定形は「知りません」である。

A：お姉さんのとなりの人の名前を知っていますか。

B1：はい、知っています。山本さんです。

B2：いいえ、知りません。

A：トムヤムクンの作り方を知っていますか。

B1: はい、知<sup>し</sup>っています。よく作ります。

B2: いいえ、知<sup>し</sup>りません。おしえてください。

以前に知っていた事柄や知らなかった事柄について言う場合は、過去形「知<sup>し</sup>っていました」と「知<sup>し</sup>りませんでした」を使う。

A: タイに来る前にタイのことをよく知<sup>し</sup>っていましたか。

B: いいえ、あまり知<sup>し</sup>りませんでした。

ぶんぼう

① **Vたい**

れんしゅう 1-3

話し手がある行為について希望を表し、「Vます+たい」の形で使う。

行く	→	行きます	+	たい	=	行きたい
見る	→	見ます	+	たい	=	見たい
買い物する	→	買い物します	+	たい	=	買い物したい
来る	→	来ます	+	たい	=	来たい

「Vたい」の活用方法は、い形容詞と同じである。

- 楽しいゲームをしたいです。
- パーティーへ行きたくありません。
- 小さい時、医者になりたかったです。
- 早く日本語が上手になりたいです。
- ちゅうごく語が話せるようになりたいです。

日本語では、相手へ要望や希望を直接的に聞くことは失礼となることがある。特に、目上の人や親しくない人には「～たいですか。」と直接的な表現は使わないように注意する。例えば、料理を注文する際に、目上の人に「何が食べたいですか。」ではなく、「何にしますか。」と聞く方が良い。

「Vたい」の目的語の助詞は、「が」「を」どちらでも良い。

- つめたい水が／を 飲みたいです。
- ソムタムが／を 食べたいです。

② **～んですが……。**

れんしゅう 3

これから述べる事柄に関して、前置きをする表現である。後に述べる文は、依頼や誘いかけ、あるいは取り上げたことについて詳しい情報を与えたり求めたりするものが多い。「～んですが、……。」の前に来る述語の活用形は第16課の「んです」と同じである。

- 今かるたについてレポートを書いているんですが、いい本をしょうかいしていただけますか。
- しょうひんのことなんですが、あしたいっしょにデパートへ買いに行きませんか。

話し手が相手に援助や助言をもらいたい場合、「～たいんですが、……。」を使って希望を表すことがある。また、依頼の部分を省略して、「～たいんですが、……。」だけで依頼の意味を暗示することもある。

〈友人に花屋を紹介してほしい時〉

- 花<sup>はな</sup>を買い<sup>か</sup>たいんですが、……。
- (いい店を紹介して下さいませんか)

〈図書館の人に、本を借りる手続きを教えてください時〉

- この本を借<sup>か</sup>りたいんですが、……。
- (どうすればいいですか)

〈友人に何か教えてほしい時〉

- 日本のせいじについてちょっと聞きたいんですが、……。
- (教えてくださいませんか)

## ③ V たらいい

れんしゅう 3

助言を与えたり求めたりする表現である。活用形は「Vた+ら+いい」である。

行く	→	行った+ら+いい	=	行ったらいい
飲む	→	飲んだ+ら+いい	=	飲んだらいい
着る	→	着た+ら+いい	=	着たらいい
勉強する	→	勉強した+ら+いい	=	勉強したらいい
来る	→	来た+ら+いい	=	来たらいい

A: 花<sup>はな</sup>を買いきたいんですが、どこで買ったらいいですか。

B: 銀行のとなりの店で買ったらいいですよ。

A: BTS のきっぷを買いきたいんですが、どうしたらいいですか。

B: ボタンをおしてから、お金を入れたらいいですよ。

## ④ N なら

れんしゅう 3

「なら」は、相手が言及したこと(N)を題目として取り上げる働きを持っている。話し手がその題目について、何か提案や助言をしたり、情報を与えたりする。

A: 着物がひつようなんですが、どこで借りたらいいですか。

B: 着物なら、あきこさんに借りたらいいですよ。

A: この歌<sup>うた</sup>の CD をさがしているんですが、……。

B: ああ、その歌<sup>うた</sup>なら、ピサヌさんが CD を持っていますよ。

## ⑤ V dic | N の ために、V

れんしゅう 4

「ため」は名詞で、目的を表す。「ために」の前で述べられた目的を達成するために、後件(主文)の動作を行うという意味を表わす。タイ語で[pháa]である。

大学に入るために、いっしょうけんめい勉強しています。

パーティーのためにどんなじゅんびをしますか。

## ⑥ V て おく

れんしゅう 4-5

「おく」は「V て」と接続して、主体が何らかの準備として「V て」の動作を行うという意味を表わす表現である。タイ語は[triam...wáy]である。

わたしはゲームを<sup>かんが</sup>考えておきます。

ひつようなものは<sup>か</sup>借りておきました。

もうすぐおきやくさんが来ますから、エアコンをつけておきましょう。

## ⑦ もう/まだ

れんしゅう 5

「もう」はタイ語で[léew]である。動詞の過去形を修飾する場合は、完了を表し、その動作が既実現したという意味となる。

もうご飯ができましたよ。

もう先生にほうこくしました。

疑問文で用いる場合、その動作が完了したのか、まだなのか尋ねる表現となる。

クイズはもう作りましたか。  
もう飲み物をちゅうもんしましたか。

「まだ」はタイ語で[yaŋ]である。否定形の「V て+いない」と共に使うと、その動作がまだ実現していないことを表す。

くわしいことはまだ聞いていません。  
まだ学校に着いていません。

★例外 可能形動詞や「わかる」「ある」「いる」は、一般的に「～ていない」ではなく、「Vない」を使う。

まだ中に入れません。  
来週のよていはまだわかりません。

「もう」と「まだ」は反対の意味を表すため、「もう」を用いた質問に対して、「いいえ」で答える場合、「まだ」を用いる。

A: もう日本のお正月についてしらべましたか。  
B: いいえ、まだしらべていません。

ところが、特に完了・未完了の意味を強調したい場面でなければ、「もう」と「まだ」を省略しても良い。「もう」と「まだ」の意味は、動詞の活用形だけでも十分表わされているからである。

A: (もう) 日本のお正月しょうがつについてしらべましたか。  
B: いいえ、(まだ) しらべていません。

⑧ (人数／グループ) で V

よんでみましょう

ある動作と一緒に行動する人数を示す助詞である。

日よう日にひとりで映画を見に行きました。  
三人でスコタイへ行きます。  
パタマーさんと二人でおり紙がみを作りました。  
クラスみんなでゲームを三つかんが考えました。

⑨ N1 という N2

まんがでまとめ

N1はN2の具体的な名称で、話し手や聞き手がN1について、よく知らないときに使われる。N2は一般名詞であり、N1は固有名詞を用いることが多い。

お正月しょうがつに日本人はおせち料理という特別な料理を食べます。  
今朝、ヌクーンさんという人から電話がありましたよ。  
タイランド・プラザというたてものを知っていますか。

⑩ N(間接目的語)に・Nと(共同行為者)二つの助詞をとる動詞

よんでみましょう

「話す、そうだんする、あう」等の動詞は、2種類の行為が考えられる。

1. 主語がある人物に向けて、一方的に動作を行う。この場合、動作の相手は間接目的語として扱われ、それを示す助詞「に」を用いる。
2. 主語がある人物と共同で動作を行う。この場合、ある人物は共同行為者として扱われ、それを示す助詞「と」を用いる。

友だちに旅行のことを話しました。  
(=友達に聞かせる)  
友だちと旅行のことを話しました。  
(=友達と旅行の話をする)

友だちにそうだんします。

(=友達に相談にのってもらう)

友だちとそうだんします。

(=友達と話し合う)

あした友だちにあいに行きます。

(=主体の方が友達の所に向かって会いに行く)

えいがかんの前で友だちとあいます。

(=主体と友達がそれぞれ映画館に行き、出会う)

## ぶんぼう

## ① 普通形 Plain Form

れんしゅう 1-2

既習の「V ます」や「Adj です」、「N です」は、相手に敬意を表わす丁寧形で、タイ語の[khâ][khráp]と同様である。また、主文の述語に用いられることが一般的である。その一方で、日本語には、様々な場合に用いられる「普通形」もある。

## 丁寧形と普通形の比較表

動詞		丁寧形	普通形
現在形	肯定形	食べます	食べる (V dic)
	否定形	食べません	食べない (V ない)
過去形	肯定形	食べました	食べた (V た)
	否定形	食べませんでした	食べなかった (V なかった)

い形容詞		丁寧形	普通形
現在形	肯定形	暑いです	暑い
	否定形	暑くないです	暑くない
過去形	肯定形	暑かったです	暑かった
	否定形	暑くなかったです	暑くなかった

な形容詞		丁寧形	普通形
現在形	肯定形	元気です	元気だ
	否定形	元気ではありません	元気ではない
過去形	肯定形	元気でした	元気だった
	否定形	元気ではありませんでした	元気ではなかった

★「N です」の普通形は、な形容詞と同じである。

普通形は、一般的に、以下の場合に使われる。

- 家族などの親密な関係にある人との会話  
今日は行かない。  
おいしかったね。
- エッセイやレポート、新聞記事などの書き言葉
- 第20課で紹介する、従属節の述語

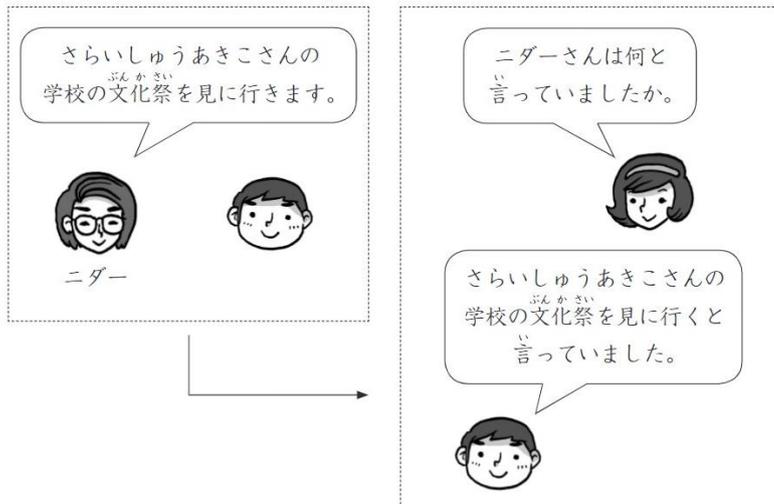
## ② ~とっていました。

れんしゅう 1-3

聞いた話や手紙、メールから得た情報を聞き手に伝える(伝聞)表現である。「~と」の「~」の部分には伝聞の内容を表す文が入り、その文の後に助詞「と」がつく。また、この伝聞表現には、Indirect Speech と Direct Speech の2種類がある。

## 2.1 Indirect Speech

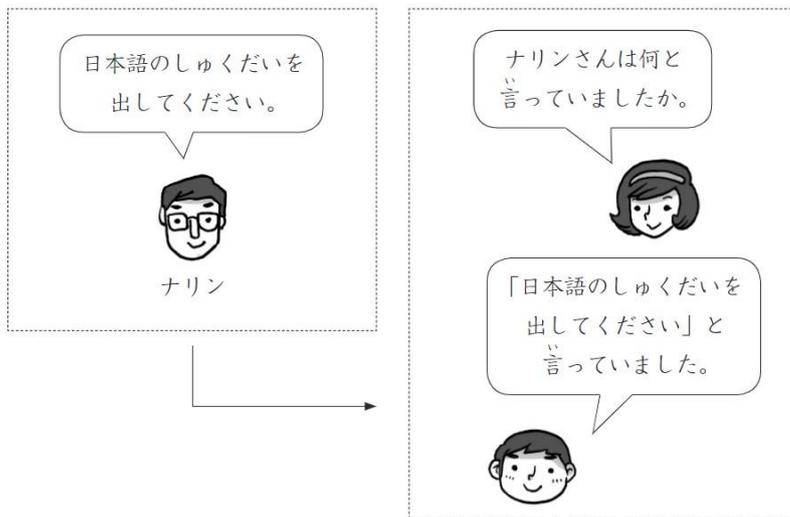
聞いた事柄や読んだ文章を、話し手の言葉でまとめて伝える。この場合、述語を普通形 (Plain Form) にする。



ニランさんはカメラを持って来なかったと言っていました。  
エムオンさんは日本の文学の勉強をしていると言っていました。  
ポンさんはポスターのテーマをかえたいと言っていました。

## 2.2 Direct Speech

聞いた事柄や読んだ文章を、そのまま引用して伝える。この場合、述語の形はそのままにする。



あきこさんは「来週わたしの学校の文化祭を見に来ませんか」と言っていました。  
先生は「図書館のDVDを早くかえしてください」と言っていました。

「と」は、引用文の「言う」以外の動詞とも使うことができる。

この漢字は、おんよみでは「ぶつ」と読んで、くんよみでは「もの」と読みます。  
毎朝みんなに「おはようございます」とあいさつしてください。  
トイレに行きたい時、先生に日本語で何と言ったらいいですか。  
こくばんにタイ語で「がんばりましょう」と書いてください。  
父は母に、おさけもたばこもやめるとやくそくしました。

③ (場所)にNをV。

れんしゅう4

第6課では、動作の行われる場所を表す「(場所)で」を紹介した。この課では、動作の結果が残る場所を示す「(場所)に」という文型を紹介する。

〈てんぷらの作り方を黒板に書いた。その動作の結果、「作り方」が黒板に書かれている〉  
こくばんにてんぷらの作り方を書きました。

〈机の上に本を置いた。その動作の結果、本がそのまま机の上にある〉  
つくえの上に本をおきますよ。

〈人形を棚の上に並べた。その動作の結果、人形が並んでいる〉  
たなの上に人形をならべました。

④ NがVである。

れんしゅう5

ある目的のために、意図的に働きかけをした結果の状態を表す表現である。その状態の主体「N」に助詞「が」がつく。

こくばんに日本の祭りの名前が書いてあります。  
教室にアジアのちずが掛けてあります。  
学生に知らせるために、けいじばんにキャンプのポスターがはってあります。

⑤ ~と書いてあります。

れんしゅう5-6

看板や書物などを読んで得た情報を聞き手に伝える表現である。「~と言っています。」と同様に、「~と書いてあります。」の「~」の文には、Indirect SpeechとDirect Speechの2種類がある。

日本語クラブの日本語の文字コンテスト  
日時：12月1日 午後15:00  
場所：A会議室  
参加希望者は、日本語クラブ部長に申し込んでください。

12月1日ごご3時にAかいぎ室で日本語の文字のコンテストがあると書いてあります。

日本料理を作りましょう  
8月8日 午後4時  
食堂で

「8月8日ごご4時にしょくどうで日本料理を作りましょう」と書いてあります。

⑥ (場所)でNがある。

れんしゅう6

動詞「ある」は、ものの存在を表すだけではなく、ある出来事が発生することや行われることを表すこともある。

ごご、かいぎがあります。  
来週から試験があります。  
ゆうべ火事がありました。  
今朝じこがありました。

出来事の発生する場所や動作が行われる場所は「で」で示される。

ごご日本語の教室でかいぎがあります。

先生が、ゆうバインドネシアで大きいじしんがあったと言っていました。

⑦ (疑問文) わかる

れんしゅう 7-8

第10課で取り上げた「Nがわかる」では、名詞で表されるある事物についてわかるという用法を学んだ。しかし、分かる対象が、「出口がどこか」のように疑問文の場合は、その疑問文の述語を普通形に変える。名詞や形容詞の現在肯定形「だ」はよく省かれる。文型は疑問文の種類によって2種類に分類できる。

7.1 疑問詞がある疑問文の場合

QW + (Plain Form) か + わかる

出口がどこにあるかわかりますか。

どうしたらいいかわかりません。

名前が書いてありませんから、だれのきょうかしょかわかりません。

7.2 疑問詞がない疑問文の場合

疑問文 (Plain Form) かどうか + わかる

みんながさんせいするかどうか、わかりません。

あの人の話はほんとうかどうかわかりません。

この時計は日本せいかどうか、わかりますか。

おかしを作りました。おいしいかどうかわかりませんが、食べてみてください。

銀行が土よう日にもあいているかどうか、わかりますか。

「わかる」以外の動詞にも使うことができる。

リーさんが何才か知っていますか。

はさみをどこにおいたか、おぼえていません。

文化祭で何をうるか、まだそうだんしていません。

ナッターさんにお金をかえしたかどうか、思い出せません。

二年生がポスターのテーマをきめたかどうか、あきこさんに聞いてみましょう。

⑧ (数) も

まんがでまとめ

数量の後ろに「も」をつけると、それが大きい数量だという話し手の評価が含まれる。

千五百せんごひゃくパーツももらえると書いてあります。

キャッティサックさんは先週三日間も学校を休みました。

疑問詞の数量「何+助数詞」に「も」をつけると、「たくさん」という意味になる。

このへんには、シーフードのレストランが何なんげんもあります。

あきこさんは何回もチャトゥチャクに行ったことがあります。

⑨ NかN

まんがでまとめ

「か」は名詞と名詞を接続する助詞で、名詞を列挙することで、どちらかを選ぶための選択肢を表す。タイ語は[rǎu]である。

ポスターのテーマは日本語の文字もじかあいさつのことばにしたいです。

今晚かあしたの朝もう一度電話します。

電話番号でんわばんごうかEメール・アドレスを書いてください。

## ぶんぼう

## ① 動詞文による名詞修飾 (Plain Form N)

れんしゅう 1-2、6-8

動詞の文を連体節として名詞を修飾する場合、その動詞は普通形 (Plain Form) となる。

	肯定形	否定形
現在形	Vます → V dic	Vません → Vない
過去形	Vました → Vた	Vませんでした → Vなかった

連体節の主語は「が」で示す。

これはわたしたちが作ったポスターです。

これは大使館の人がくれたパンフレットです。

使わないかびんは、このはの中に入れておきましょう。

山中さんは、リーさんが読みたいと言っていた小説をとりに戻りました。

あそこでおどっているきれいな女の人にこれをわたしてください。

洗ったものとまだ洗っていないものを同じところにおかないでください。

## ② Nに使う

れんしゅう 2

「使う」は、タイ語で[cháy]である。助詞「に」は、使う目的を示す。

これはタイ料理に使うとうぐです。

これはあしたの試合に使うボールです。

## ③ NでV。

れんしゅう 2

助詞「で」は、動作が行われる場所以外にも様々な行事や場面を表す名詞の後にもつく。例えば、しい、キャンプ、パーティー、コンサート、文化祭、じゅぎょう、かいぎ等である。このような行事や場面も、動作の行われる場所として扱うことができる。

これは文化祭で着る服です。

この間のコンサートでリーさんにあいました。

これはキャンプでとった写真です。

## ④ Vてもらう

れんしゅう 3、5

話し手が誰かに何かしてもらったり、誰かから恩恵を受けたりしたことを表す表現である。助詞「に」は、動作を行った人の後ろにつく。

スリーラットさんはよしださんに日本語をチェックしてもらいました。

スリーラット：アヌチャートさんにいすをならべてもらいました。

あきこ：先生にもう一度やり方を説明してもらいましょう。

## ⑤ Vてくれる

れんしゅう 4-6

「Nをくれる」は誰かが話し手や話し手の身内に、物をあげる場合に用いられるが、「Vてくれる」は、その主語が行なう行為について、有益であると話し手が考える場合に使う。

あきこさんがおり紙を教えてください。

姉は中国で買ったぼうしを貸してくれません。

ほかの学校の学生も文化祭を見に来てくれました。

あきこさんが学校の門の前で待っていてくれました。

⑥ (原因) ので、(結果)

「**ので**」は、原因や理由を表す文とその結果を表す文を接続する。「**ので**」の前件の文の述語は普通形(Plain Form)である。ただし、「Nです」の場合、第 16 課の「～んです」の文型と同じく、「Nな」となる。

V	飲む／飲んだ		ので
Adj い	おそい／おそかった		
N	高校生な／高校生だった		ので
Adj な	好きな／好きだった		

かぜ**なので**、家でゆっくり休みます。  
 道が**こんでいたので**、おそくなりました。  
 ずいぶん前に**読んだので**、ぜんぜんおぼえていません。

「**ので**」は、既習の「**から**」と使い方が似ている。「**から**」の前述の文の述語も普通形(Plain Form)にして、文と文を接続することができる。

あきこさんはえが上手だから、あきこさんにたのみましょう。

「**から**」に比べ、「**ので**」は丁寧な表現であるため、依頼する時など、丁寧な言い方が必要な場面によく使われる。

すみませんが、さいふをわすれたので、お金を**貸**してくだいませんか。

「**どうしてですか。**」の問いかけに答える場合は、理由や原因を示す「**から**」を使わなければならない。

今日もしゅくだいを出しませんでしたね。どうしてですか。  
 ゆうべおなか**が**いたくなって病院に行きましたから。

⑦ V**ます**やすい／にくい

「V**ます**+やすい」は、その動作・状態が簡単に実現できることを表す。一方、「V**ます**+にくい」は、その動作・作用が実現することが難しいことを表す。「～やすい」「～にくい」は、い形容詞と同様に扱われる。

「つ」の音は**発音**しにくいです。  
 かには**食べ**にくいですから、魚にしませんか。  
 スリーラットさんの字はきれいで読みやすいです。  
 この間書いてくれた**地図**はとてもわかりやすかったです。

⑧ Nをくれて、| ありがとう (ございました)。  
 Vてくれて、|

相手から物を貰ったり、あることをして貰ったことに対して、感謝を伝える表現である。

文化祭によんでくれて、どうもありがとう。  
 いろいろ教えてくれて、どうもありがとうございました。

⑨ **Vて、(どうも) すみません。**

まんがでまとめ

謝罪表現で、「Vて」は、謝罪の原因となる動作・状態を示す。「すみません」の前に「どうも」をつけることで、強いお詫びの気持ちを表すことができる。

おそくなって、すみません。

心配をかけて、すみません。

たんじょう日のパーティーに出られなくて、どうもすみませんでした。

⑩ **Vてあげる**

まんがでまとめ

話し手が誰かのために、他の人が誰かのために、ある行為をすることを表す表現である。

スリーラットさんはリーさんの名前をふでで書いてあげました。

ポンさんはあきこさんのタイ語の作文さくぶんをなおしてあげました。

## ぶんぼう

① ～し、～

れんしゅう 1、5

「し」には、文と文を接続する機能がある。「し」の前述の文の述語は普通形(Plain Form)となる。ある事柄について、裏付ける理由や根拠を挙げるために、使うのが一般的である。「し」で文を接続する場合、内容が似ている文であるため、「も」と一緒に使うことが多い。

大使館のとなりの店にしませんか。ねだんも安いし、サービスもいいです。  
 お金もないし、レポートもまだ書いていないから、今度のれんきゅうはどこへも行きません。

「し」を使って文を接続せずに、「～し。」のように使うこともできる。「～し。」の前述の文は、裏付ける理由を示すが、その理由はまだ他にもあることを暗示している。

あきこさんにあげるお土産について相談している。

ナリン：シルクのハンカチにしましょうか。  
 リー：そうですね。タイのシルクは有名だし。

② ～そうだ

れんしゅう 2、5

2.1 形容詞の場合、話し手がある物を見て、その物の様子や性質を判断して述べる表現である。形容詞は、次のように活用する。

い形容詞： 「い」をとって、「～そうだ」をつける。

おいしい	→	おいしそうだ
にがい	→	にがそうだ
ねむい	→	ねむそうだ
★ 例外： いい	→	よさそうだ

な形容詞： 「～そうだ」をつける。

かんたん	→	かんたんそうだ
楽	→	楽そうだ

「～そうだ」そのものは、な形容詞として扱われる。

あの人はひまそうです。いつも友だちと話しています。  
 この仕事は楽そうです。  
 スティニーさんはいつも高そうな服を着ています。

「形容詞+そうだ」の否定形は、その形容詞を、ない形に活用し、「ない」の代わりに「なさ+そうだ」をつける。

かたい	→	かたく	なさそうだ
強い	→	強く	なさそうだ
じょうぶ	→	じょうぶでは	なさそうだ
かんたん	→	かんたんでは	なさそうだ

弟のチームはあまり強くなさそうです。

あしたのテストは新しいことばが多くてかんたんではなさそうです。

2.2 動詞の場合、話し手が何かを見て、すぐ後にその動作・状態が実現する様子を述べる表現である。動詞は、次のように活用する。

動詞： Vます + そうだ

やみます	→	やみそうだ
おちます	→	おちそうだ

あ、赤ちゃんがベッドからおちそうですよ。

もうすぐ雨がやみそうだから、少し待ちましょう。  
このシャツはボタンがとれそうだから、着ない方がいいです。  
風がとても強い<sup>つよ</sup>です。木がたおれそうです。  
空もくらいし、風も強いです。雨がふりそうですよね。

「Vます+そうだ」の否定形は、「Vます+そうもない」で、その動作・状態が実現する可能性がないことを表す。

バスは来そうもないから、タクシーで帰りましょう。  
あのせんばいは親切な人ではないから、てつだってくれそうもありませんね。  
★ 例外： ありません → なさそうだ

③ ～かもしれない れんしゅう 3、5

話し手が、自信がなく「もしかしたら」という気持ちを表す推量表現である。タイ語は[àat cà ... kô dáay]である。「～かもしれない」は、普通形と接続するが、な形容詞と現在肯定形の名詞は、「だ」が省かれる。

今の時間は道がこんでいるかもしれませんから、早く出ましょう。  
夕方雨がふるかもしれませんから、かさを持って行った方がいいです。

A：月末はひまですか。  
B：ひまかもしれません。ひまではないかもしれません。まだわかりません。

A：おいしいですね。これはぶた肉ですか。  
B：よくわかりませんが、とり肉かもしれません。

あの店の方が安いかもしれませんから、行ってみましょう。

④ ～たら、～ れんしゅう 4-5

ある動作の実現や状態を仮定する表現である。「たら」の前述の動詞、形容詞、名詞は、た形である。

A：雨がふったら、どうしますか。  
B：雨がふったら、へやでゲームをします。  
天気がよかったら、海に行きましょう。  
仕事がたいへんだったら、やめます。  
おもしろい本だったら、買います。  
空<sup>そら</sup>がくもっていたら、ほしが見えません。  
タクシーで行ったら、間に合います。  
この三つの質問にこたえられたら、これをプレゼントします。  
なおらななかったら、また来てください。  
ぎゅう肉がなかったら、ぶた肉を買って来てください。

文頭に、「もし」という言葉をつけることもできる。「もし」は「仮に」という意味である。  
もし天気が悪かったら、どうしますか。

前述と後述の文の主語が同じでない場合、前述の主語には、助詞「が」がつく。

⑤ V 移動動詞 + ている まんがでまとめ

「行く、来る、帰る、出かける、入る、出る、着く」等のような移動動詞に「～ている」を用いると、既に目的地に到着しているという状態を表す。

両親がタイに来ています。

＝両親がもうタイに来て、そして今タイにいる。

7時には学校に着いています。

＝7時の時点には学校にいる。学校に着いたのは7時前で、その時点からずっと学校にいる。7時の時点には「着いています」という状態になっている。「7時」は学校に着いた時間ではない。

中に本やざっしがいっぱい入っています。

月が出ているので、外はとても明るいです。

⑥ **N**という

まんがでまとめ

人や物の名称・呼び方を言う表現で、Nは名称や呼び方を示す。語源は、動詞「言う」であるが、この表現では漢字で書かず、ひらがなで「いう」と書く。

リーさんの友だちは青木よしえさんといいます。

弟です。ウィーラユットといいます。

このくだものは日本語で何といいますか。